



みんなのひろば

今月は、「双海俳句同好会」と「由並短歌会」の作品をご紹介します。
 ■お問い合わせ 「双海俳句同好会」代表：岡田武夫さん(☎986-1361)、「由並短歌会」代表：山崎タマミさん(☎986-0851)へ。

【俳句】

脱藩の径斑猫の逸れてゆく
 出会ふ人別るる人や花の頃
 短冊は無地のままなる笹飾り
 かなかなや急かされてゐる夕厨
 五月雨や伊予より流る土佐の川
 万緑の山懐に父母の墓
 空の青雲の形も夏盛り
 幼な児の線香花火震え落つ
 冷奴手酌自由に妻の留守
 先達の声の引張る山開き
 新緑を写す川面の舟下り
 ほうたるの闇を鎮めて川の音

岡田 武夫
 梶原たぐし
 池田フデコ
 東 正三
 岡田 米香
 宇根都志子
 中川千恵子
 上田 稔
 平田すずお
 若松ナミ子
 大西 洋子
 福島 恵子

【短歌】

風鈴の音聞こゆ中念仏す
 納骨や少し雨止む柿若葉
 千葉 城圓
 谷本ゆずる

かすみたる瀬戸の海山静かなり
 わが住む里に暮の鐘なる
 健やかに四代生きし亡き姑の
 使いし手鋸で吾も草とる
 生い茂る休耕の畑如何にせん
 思案の我に鳴くか鶯
 枝張りて風にそよげる百日紅
 夏の日差しに出来ない冴えて
 栗田はまえ

大森より東京湾も見渡せし
 昭和二十年の夏いまも忘れず
 谷本 譲

梅雨最中大師を慕い寺参り
 お茶の接待こころに沁むる
 一人居にテレビ相手の泣き笑い
 妻の退院早くと願う
 夜の旅のフェリーに体横たえて
 スクリュー音を聞きつつ寝入る
 山崎タマミ

石鎚の大神様より銀の笏
 いただき夫の笑顔こぼるる
 暮れ時を水やり育てし茄子胡瓜
 みづみづしきを厨に刻む
 若松なみ子
 三井ミチエ

すくすくいっ子



えりかちゃん
 ♥ 武知映里香ちゃん
 平成15年9月10日生まれ(1歳)
 《父》良樹さん
 《母》佐由美さん(下吾川)



いつもみんなを笑わせてくれて
 ありがとう。

市内で5歳くらいまでのお子さんの写真を募集しています。写真に、お子さんの名前と生年月日、両親の住所・氏名、お子さんへの簡単なメッセージを添えて、総務課広報広聴担当まで。希望があれば写真撮影もしています。